



学校法人 弘徳学園
姫路大学
豊岡短期大学
こうのとり認定こども園

令和元年度 事業報告書

学校法人 弘徳学園

I 法人の概要

(1) 学園設立とあゆみ

学校法人弘徳学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体として分離・独立しました。

そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学、翌平成20年4月に「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」を増設しました。結果、本学園は独立4年目にして、姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園等を運営する学園となりました。

そして、平成26年度には地域の子育て支援のために、既存の幼稚園の他に「このとり保育園」を開園し、幼保連携型認定こども園をスタートさせましたが、この認定こども園は、子ども・子育て支援新制度による新しい幼保連携型認定こども園として平成27年度に新たに認可を受け、既存の幼稚園と保育園を廃止し新たな「このとり認定こども園」として運営しています。

本法人は、文部科学省の認可を受け、平成28年4月1日から法人等の名称を、「学校法人近畿大学弘徳学園」から「学校法人弘徳学園」、大学名を「近大姫路大学」から「姫路大学」、短期大学名を「近畿大学豊岡短期大学」から「豊岡短期大学」に変更するとともに、法人本部所在地を豊岡キャンパスから姫路キャンパスへ移しました。

平成28年8月に文部科学省から、「姫路大学大学院看護学研究科」設置の認可を受け平成29年4月1日に開設、さらに平成30年11月に博士後期課程への専攻課程変更の認可を受け、平成31年4月に開設しました。

豊岡短期大学は豊岡短期大学姫路キャンパスの開設について厚生労働省より平成31年3月に指定保育士養成施設の認可を受け、平成31年4月1日に開設しました。

また、令和元年11月には、地域の子どもから高齢者まで健康と発達の向上にむけた研究、支援開発を行う「姫路大学附属健康・教育実践研究センター」を設立しました。

(2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園は、近畿大学創業者世耕弘一先生の説かれた「教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人の育成にある」を建学の精神として、他人や自然を思いやる、いわゆる「共生の心」を備えた人材の育成を目的としています。

この建学の精神を具現化するために、次のような教育目標をかかげております。

第1は、「人間は人間だけで生きているのではなく、他の生命とともに、生かされているという認識をもつこと、そしてこの思想を推進するための実践力を培う」

第2は、「専門職業人としての基本的な倫理観を身につけるとともに思いやりの心を培う」

第3は、「専門職に必要な基礎的知識及び技術を修得するとともに、創造性を培う」

第4は、「社会・歴史に対する深い洞察力を身につけるとともに、豊かな人間性を培う」

第5は、「国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う」

I 法人の概要

(3) 学校法人の沿革 (概要)

昭和	26年	2月	学校法人近畿大学認可
	39年	3月	近畿大学附属豊岡女子高等学校設置認可
	42年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学設置認可
	42年	4月	近畿大学豊岡女子短期大学開学(家政科)
	44年	3月	近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部家政科設置認可
	44年	7月	学生食堂竣工
	46年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学幼児教育科設置認可
	46年	2月	近畿大学豊岡女子短期大学(幼児教育科) 保母養成校指定
	47年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部幼児教育科設置認可
	48年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学児童教育科設置認可
	48年	3月	近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部(幼児教育科) 保母養成校指定
	48年	3月	近畿大学豊岡女子短期大学幼児教育科廃止
	48年	4月	近畿大学豊岡短期大学児童教育学科初等教育学専攻、幼児教育学専攻増設
	55年	2月	近畿大学豊岡女子短期大学児童教育研究所附属幼稚園設置認可
	55年	4月	近畿大学豊岡女子短期大学児童教育研究所附属幼稚園開学
	平成	59年	9月
60年		7月	近畿大学豊岡女子短期大学 和花季会館竣工
元年		4月	近畿大学豊岡女子短期大学を近畿大学豊岡短期大学に名称変更
4年		11月	近畿大学豊岡短期大学創立25周年記念式典
4年		12月	学生食堂ログハウス竣工
7年		4月	グラウンド完成
7年		11月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部創立25周年記念式典
14年		4月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部社会福祉士養成通信課程開設
15年		11月	学校法人近畿大学弘徳学園設置認可
16年		4月	近畿大学豊岡短期大学並びに近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園を学校法人近畿大学から学校法人近畿大学弘徳学園へ設置者変更
17年		4月	近畿大学豊岡短期大学幼児教育学科を近畿大学豊岡短期大学こども学科に名称変更
17年		4月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部幼児教育学科を近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科に名称変更
17年		5月	私立学校法改正に伴う寄附行為変更届認可
17年		5月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部創立35周年記念式典
18年		11月	近大姫路大学看護学部看護学科設置認可及び寄附行為変更申請認可
19年		4月	近大姫路大学開学(看護学部看護学科)
19年		12月	近大姫路大学教育学部こども未来学科設置認可及び寄附行為変更申請認可
19年		12月	近大姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程設置認可及び寄附行為変更申請認可
20年		1月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科保育士養成課程定員変更(1,000人→1,800人)
20年		3月	近畿大学豊岡短期大学生活情報・福祉学科廃止
20年		4月	近大姫路大学教育学部こども未来学科開設
20年		4月	近大姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程開設
21年		1月	収益事業廃止に伴う寄附行為変更申請認可
21年		3月	近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園定員変更に伴う園則変更申請認可(100人→60人)
21年		4月	近畿大学豊岡短期大学こども学科入学定員変更(50人→40人)
21年		10月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部創立40周年記念式典
23年		4月	近大姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程図書館司書・学校図書館司書教諭・学芸員コース開設
23年		4月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科を幼児専攻と保育専攻に専攻分離
24年		3月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部生活情報・福祉学科廃止
24年		3月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科定員変更(2,200人→2,400人)
24年		4月	近大姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程中学校・高等学校教諭免許課程開設
24年		4月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部図書館司書専修履修コース、保健保育士養成コース開設
26年		3月	こうのとり保育園設置に伴う寄附行為変更申請認可
26年		4月	こうのとり保育園開園
26年		4月	幼保連携型こうのとり認定こども園開園(近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園 100人、こうのとり保育園 60人)
27年		3月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科幼二種免許課程廃止
27年	3月	近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園廃止	
27年	3月	こうのとり保育園廃止	
27年	4月	幼保連携型こうのとり認定こども園開園(1号認定児 100人(利用定員90人)、2号認定児 42人、3号認定児 18人)	
27年	4月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科入学定員変更(幼児専攻600人→1,000人、保育専攻1,800人)	
27年	10月	学校法人名称変更に伴う寄附行為変更申請認可(学校法人近畿大学弘徳学園→学校法人弘徳学園)	
28年	4月	学校法人近畿大学弘徳学園を学校法人弘徳学園に名称変更	
28年	4月	近大姫路大学を姫路大学に名称変更	
28年	4月	近畿大学豊岡短期大学を豊岡短期大学に名称変更	
28年	4月	学校法人の所在地を「兵庫県豊岡市戸牧160番地」から「兵庫県姫路市大塩町2042番2」に変更	
28年	4月	姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程中高免許課程募集停止	
28年	8月	姫路大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程設置に伴う寄附行為変更申請認可	
29年	4月	姫路大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程開設	
29年	4月	幼保連携型こうのとり認定こども園定員変更 (1号認定児80人(利用定員70人)、2号認定児50人、3号認定児30人)	
29年	11月	豊岡短期大学創立50周年記念式典	
30年	11月	姫路大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程の課程変更申請認可	
31年	3月	豊岡短期大学こども学科姫路キャンパスの指定保育士養成施設指定申請認可	
31年	4月	姫路大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程開設 姫路大学大学院看護学研究科修士課程を博士前期課程に名称変更 豊岡短期大学こども学科姫路キャンパスの指定保育士養成施設指定	
令和	元年	11月	姫路大学附属健康・教育実践研究センター開所

I 法人の概要

(4) 設置する学校・学部・学科等

- 姫路大学 所在地：兵庫県姫路市大塩町2042番2
 看護学部 看護学科
 大学院 看護学研究科
 教育学部 こども未来学科
 通信教育課程 教育学部こども未来学科
- 豊岡短期大学 所在地：兵庫県豊岡市戸牧160番地
 こども学科
 通信教育部 こども学科
 通信教育部 社会福祉士養成通信課程
- このとり認定こども園 所在地：兵庫県豊岡市戸牧160番地3

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

入学定員、収容定員、現員数 等

(単位：名)

	学部・学科等	入学定員	収容定員	在学(園)者数	備考	
姫路大学	看護学部看護学科	100	400	417	平成19年4月開設	
	大学院					
	看護学研究科					
	博士前期課程	6	12	12	平成29年4月開設	
	博士後期課程	3	9	7	平成31年4月開設	
	教育学部こども未来学科	80	340	203	平成20年4月開設 (3年次編入定員10名)	
	通信教育課程 教育学部こども未来学科	1,000	4,600	495	平成20年4月開設 (3年次編入定員300名)	
豊岡短期大学	こども学科	40	80	59	平成21年4月入学 定員変更(10名減)	
	通信教育部 こども学科	2,800	7,400	3,008	平成27年度定員変更 2,400名→2,800名	
	通信教育部 社会福祉士養成通信課程 (修業期間：1年6ヵ月)	300	—	令和元年度 212(2年) 151(1年)		
このとり認定こども園	1号認定	3歳児	—	80	30	平成29年4月定員変更 100名→80名
		4歳児	—		23	
		5歳児	—		15	
	2・3号認定	0歳児	—	6	3	平成29年4月定員変更 18名→30名
		1歳児	—	9	10	
		2歳児	—	15	15	
		3歳児	—	15	14	平成29年4月定員変更 42名→50名
		4歳児	—	15	16	
		5歳児	—	20	17	

(令和元年5月1日現在)

I 法人の概要

(6) 役員概要 (就任順)

			定員数	理事 6～12名, 監事2名
理事長	上田 正一	常勤		平成16年 4月 1日 理事就任
理事	加藤 直由	非常勤		平成30年 3月 1日 理事就任
理事	牛尾 礼子	常勤		平成30年 3月 1日 理事就任
理事	野畑 健太郎	常勤		平成30年 3月 1日 理事就任
理事	多喜 美枝子	非常勤		平成30年 5月 1日 理事就任
理事	坂本 清	非常勤		令和元年 6月12日 理事就任
理事	山下 敏行	非常勤		令和元年 6月12日 理事就任
監事	後藤 真	非常勤		平成22年12月15日 監事就任
監事	大井田 博	非常勤		平成25年 4月 1日 監事就任
				(令和2年3月31日現在)

前会計年度の決算書類承認に係る理事会開催日後の退任役員の状況

理事 加藤 幹夫 非常勤 令和元年10月31日退任

当該末日から決算書類の承認に係る理事会開催日までの異動状況

監事 大井田 博 非常勤 令和2年 3月31日退任

理事 角田 雄彦 非常勤 令和2年 4月 1日新任

理事 松田 文彦 非常勤 令和2年 4月 1日新任

監事 林 善一 非常勤 令和2年 4月 1日新任

(7) 評議員概要

		定員数	評議員 15～26名
評議員	22人		(令和2年3月31日現在)

(8) 教職員概要

姫路大学

看護学部

教授 19人

准教授 4人

講師 6人

助教 7人

助手 7人

職員 ※ 46人

教育学部

教授 19人

准教授 5人

講師 8人

助教 0人

助手 0人

※ 校医等含めず

豊岡短期大学

教授 17人

准教授 12人

職員 ※ 32人

講師 37人

助教 3人

※ 校医等含めず

このとり認定こども園

教諭 10人

職員 ※ 3人

常勤講師 6人

※ 校医等含めず

(令和2年3月31日現在)

II 事業の概要

(1) 事業の概要

令和元年度の主な事業の進捗状況は次のとおりです。

- (イ) 平成30年11月に大学院博士後期課程の専攻課程変更の認可を受け、開設年次の整備計画に則り、教育、研究活動を行うための設備等の整備を行いました。
 - (ロ) 姫路大学では、学生自身が国際的動向に関心を持ち、グローバルな視点から役割を理解し、行動できる基礎的能力を身につけることを目標に、海外大学との協定締結を進めています。令和元年度はカナダのビクトリア大学と大学間提携を結び、来年度より短期研修プログラムを行う計画です。
 - (ハ) 姫路大学では、私立姫路女学院高等学校と相互理解を深め、教育交流を促進することにより、教育の向上を図るとともに、高校と大学との円滑な接続に資すること等を目的として、高大連携協定を締結しました。
- (ニ) 豊岡短期大学では平成31年3月に、こども学科姫路キャンパス設置の申請認可を受け、4月より学修をスタートしました。豊岡キャンパスに通う学生とも合同研修等を通して交流を深めています。
- この姫路キャンパスは、「兵庫県立ものづくり大学校」から平成31年度離職者等再就職訓練事業の委託訓練先として指定され、保育士養成コース（2年コース）を設け、訓練生を受け入れました。令和2年度も継続申請を行います。

>>学生の修学支援に関する主な事業

- (イ) 国の高等教育の修学支援新制度の対象機関として認められ、令和2年度から学生への支援を行うため、学生へ周知するとともに、実施準備を行いました。
 - (ロ) 看護師等国家試験対策として、国試対策講座を年間通して行うとともに、低学年から模擬試験や習熟度チェックテスト等を行いました。
 - (ハ) 教員採用試験対策については、年間を通して対策講座を開講するとともに、模擬試験及び実技試験に対応した二次試験対策も手厚く行いました。また、遠方における採用試験受験用交通費について学生の負担軽減を図りました。
- (ニ) 授業料等を減免する形で様々な本学独自の奨学金制度を設け、学生の就学をサポートしました。また、入学前教育を実施し、学修への導入準備を行いました。

>>キャリア・就職支援対策事業

- (イ) 看護学部では、学内病院合同就職説明会を開催し、就職活動をサポートしました。
- (ロ) 教育学部では就職活動をサポートするため、様々なテーマで就活セミナーを実施するとともに、3年生にも手厚く直前対策就活セミナー等を行いました。また卒業生を招いてのキャリアデザインミーティングを開催し、学生の意識向上に努めました。

>>地域交流・貢献事業

- (イ) 短大では、教育資源の地域への還元の一環として、公開講座を開催しました。
- ①世界で活躍する二胡奏者を中心にソプラノ歌手をはじめ、ピアノ、エレクトーン奏者を招聘し、音楽コンサート「姜建華と仲間たち」を実施しました。
 - ②地域の要望に応え、パソコン講座として、「ワード活用講座」、「エクセル活用講座」の2講座を昨年に引き続き開講し、教員及び学生ボランティアと地域住民の交流を図りました。
- (ロ) 短大では学生と、地域の多世代の人々との双方向的表現活動による異世代間交流として「和花季ひろば 育ち合いのなかまづくり」を実施し、それぞれの活動を発表しました。同時に但馬・丹後地域の地産地消と食育をテーマとした「和花季ひろば 地域交流 食のフェア」を実施しました。
- (ハ) 短大では地域の親子を対象に「こどもフェスタ」を開催し、学生が中心となって、童話を基にした演劇の上演や、観覧者参加型の手遊び等を行い、地域の子育て支援に貢献しています。また、姫路キャンパスでも周辺地域への情報発信として、こけら落とし公演を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催延期となりました。
- (ニ) 大学では各種活動により、地域貢献活動を行っています。
- ・看護学部主催「市民公開講座」では、書家の金澤泰子氏、翔子氏をお招きし「天使がこの世に降り立てば～ダウン症者の書家 翔子と歩んできた道～」を開催しました。また、兵庫県看護協会西播支部災害支援ナース交流会を開催し、看護学部学生と地域の関係団体の参加者を交えて講演会を行いました。
 - ・大学祭「のじぎく祭 一発笑舞（いっぱつしょうぶ）」を開催し、大勢の方に来学いただきました。
 - ・大学では、地域への知の貢献や、大学施設の地域への開放を目指し、「シニアオープンカレッジ」を開講しました。
- (ホ) 教育学部では、卒業生に対するアフターケアや、地域への貢献事業として教員免許状更新講習を実施しました。
- (ヘ) 大学では、「子どもから高齢者の健康と発達の向上にむけた研究及び支援方法の開発を行い、相談活動や健康教室、講座等を通して地域社会に貢献すること」を目的に令和元年11月に健康・教育実践研究センターを開設しました。今後はさまざまな講座を開講するとともに、専門知識を活かした、健康や子育てなどへの相談活動についての周知を行います。

>>地域の子育て支援を目的とする主な事業

- (イ) こども園では在園児を対象にキンダープラッツ（預り保育）を実施しました。地域の子育て支援事業として、一時預かり保育の実施や、子育て支援室（めばえガーデン）の開設を行いました。

- (ロ) 保育終了後の課外講座として、在園年長児を対象にサッカー教室、剣道教室、書道教室を実施しました。

>>教育環境充実等を目的とする施設設備改修の主な事業

- (イ) 近年多発している大規模災害などに備え、学生・教職員の安否確認を迅速に行うため、安否確認システムを導入しました。新型コロナウイルス感染症に対する情報確認にも活用されています。
- (ロ) 姫路大学では、1号棟実習室における洗髪台改修、手洗いハンドドライヤーの取付、新2号棟の講義室の机、椅子の追加整備を行いました。また、教学部及び通信教育課程の教務システムの改修を行い、学生の履修環境を整備しました。
- (ハ) 看護学部では、eラーニングを導入し、学生の主体的な学習の促進と、復習効果や適切な看護技術獲得の向上を図りました。
- (ニ) 文部科学省からのブロック塀等の安全点検調査に伴い、豊岡短期大学の外周設置ブロック塀の改修工事を行いました。（補助金対象事業）
- (ホ) 豊岡短期大学では、機能低下が著しい和花季会館多目的ホールの空調機整備工事と高圧受電設備の修繕計画（全5期）の第3期作業を行いました。また、通信教育事務部の教務システムの改修を行い、教務事務の充実を図りました。

>>人文学・教育研究所の活動

学術雑誌「翰苑」第11号を刊行しました。
学術講座「宮沢賢治作品を読む 全6回」、「名画から英語を学ぶ 全4回」、「兵庫の部落史 全2回」、「清少納言の世界 全6回」、「古文書入門全6回」、「くずし字中級講座 全10回」を学内施設にて開催しました。
また、研修会「創る人権教育」を兵庫教育大学准教授山内敏男氏をお招きし開催しました。なお、当研究所は令和2年3月31日をもって閉所します。

>>その他の活動

- (イ) 姫路大学では、硬式庭球部の活動に力を入れており、令和元年度はテニスコートの照明設備の整備を行いました。現在関西学生リーグ1部に在籍し、好成績を得ており、2019年度全日本大学対抗テニス王者決定試合に出場し、4位の戦績を収めました。また、兵庫県体育協会から令和元年度選手強化事業対象チームとして選ばれました。
- (ロ) 姫路大学ホームページのリニューアルについては、内容充実を図るため、次年度へ事業を繰り延べました。
- (ハ) 姫路大学スクールバス入替事業については、次年度へ事業を繰り延べました。

Ⅲ 財務の概要

(1) 決算の概要

① 資金収支計算書の状況

(単位:千円)

収入の部	金額	備考
学生生徒等納付金収入	2,021,355	・授業料、入学金、実習料等の納付金
手数料収入	55,024	・入学検定料等の手数料
寄付金収入	0	・一般寄付金等
補助金収入	392,880	・私立大学等経常費補助金他
資産売却収入	0	・資産の売却収入
付随事業・収益事業収入	14,674	・補助活動収入他
受取利息・配当金収入	40	・預金利息他
雑収入	24,969	・コピー代等その他の収入
借入金等収入	0	
前受金収入	294,871	・翌年度の学生生徒等納付金等
その他の収入	72,680	・預り金等
資金収入調整勘定	△ 301,439	・前期末前受金等
前年度繰越支払資金	1,266,275	・前期末の現金預金
収入の部合計	3,841,329	

支出の部	金額	備考
人件費支出	1,678,854	・本俸、賞与、諸手当、所定福利、退職金等
教育研究経費支出	634,355	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	255,882	・学生募集経費等教育研究経費以外の経費
借入金等利息支出	0	
借入金等返済支出	0	
施設関係支出	21,882	・建物等施設関係に関する支出
設備関係支出	11,626	・機器備品等設備に関する支出
資産運用支出	0	
その他の支出	176,938	・前期末未払金の支払等
資金支出調整勘定	△95,501	・期末未払金等
翌年度繰越支払資金	1,157,293	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	3,841,329	

※ 科目毎に千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※ 資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものです。

② 活動区分資金収支計算書の状況

(単位:千円)

科 目	金 額	備 考
教育活動による資金収支		
教育活動資金収入計	2,506,165	・資金収入のうち教育活動にかかる収入
教育活動資金支出計	2,569,069	・資金支出のうち教育活動にかかる支出
差引	△62,904	
調整勘定等	△13,424	・教育活動にかかる未収・未払などの調整勘定
教育活動資金収支差額	△76,328	
施設整備等活動による資金収支		
施設整備等活動資金収入計	1,548	・資金収入のうち施設整備等活動にかかる収入
施設整備等活動資金支出計	33,508	・資金支出のうち施設整備等活動にかかる支出
差引	△ 31,960	
調整勘定等	△ 1,548	・施設整備等活動にかかる未収・未払などの調整勘定
施設整備等活動資金収支差額	△ 33,508	
小計(教育活動資金収支差額+ 施設整備等活動資金収支差額)	△ 109,836	
その他の活動による資金収支		
その他の活動資金収入計	43,114	・資金収入のうちその他の活動にかかる収入
その他の活動資金支出計	41,671	・資金支出のうちその他の活動にかかる支出
差引	1,444	
調整勘定等	△ 589	・その他の活動にかかる未収・未払などの調整勘定
その他の活動資金収支差額	855	
支払資金の増減額(小計+ その他の活動資金収支差額)	△ 108,982	
前年度繰越支払資金	1,266,275	
翌年度繰越支払資金	1,157,293	

※ 科目毎に千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※ 活動区分資金収支計算書とは

活動区分資金収支計算書とは、学校法人会計基準の一部改正に伴い、作成することになった計算書です。この活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書の資金収入と資金支出の決算額を3つの区分に分けて表示するもので、活動区分ごとに区分して記載することで、活動内容による資金の増減が明確になるようになっています。

企業会計のキャッシュ・フロー計算書の区分を参考にしたものです。

3つの区分

- ① 教育活動による資金収支
- ② 施設整備等活動による資金収支
- ③ その他の活動による資金収支

③ 事業活動収支計算書の状況

(単位:千円)

	科目	金額	備考
教育活動収支	事業活動収入の部		◎経常的な教育活動に関する事業活動収入
	学生生徒等納付金	2,021,355	・授業料、入学金、実習料等の納付金
	手数料	55,024	・入学検定料等の手数料
	寄付金	3,647	・現物寄付等(施設整備関係除く)
	経常費等補助金	391,332	・国庫補助金等(施設整備関係除く)
	付随事業収入	14,674	・補助活動収入他
	雑収入	23,780	・コピー代等その他の収入
	教育活動収入計	2,509,812	
	事業活動支出の部		◎経常的な教育活動に関する事業活動支出
	人件費	1,688,374	・本俸他、退職金、退職給与引当金繰入額
	教育研究経費	889,456	・教材等教育研究にかかる経費及び減価償却
	管理経費	294,613	・学生募集経費等教育研究経費以外の経費と減価償却
徴収不能額等	0		
教育活動支出計	2,872,443		
教育活動収支差額	△ 362,631	教育活動における事業活動収入と支出の差額	
教育活動外収支	事業活動収入の部		◎経常的な財務活動に係る事業活動収入
	受取利息・配当金	40	・預金利息他
	その他の教育活動外収入	0	
	教育活動外収入計	40	
	事業活動支出の部		◎経常的な財務活動に係る事業活動支出
	借入金等利息	0	
	その他の教育活動外支出	0	
教育活動外支出計	0		
教育活動外収支差額	40		
経常収支差額	△ 362,592	◎特殊要因を除いた経常的な事業活動収入と支出の差額	
特別収支	事業活動収入の部		
	資産売却差額	0	
	その他の特別収入	6,941	・現物寄付 ・施設設備補助金 ・過年度修正額
	特別収入計	6,941	
	事業活動支出の部		
	資産処分差額	2,133	・既設資産処分、除却費
	その他の特別支出	21	・過年度修正額
特別支出計	2,155		
特別収支差額	4,787	◎特別収支の事業活動収入と支出の差額	
基本金組入前当年度収支差額	△ 357,805	◎事業活動収入と支出の差額と等しい。	
基本金組入額合計	△ 28,241	・第1号基本金及び第4号基本金	
当年度収支差額	△ 386,046		
前年度繰越収支差額	△ 2,907,942		
基本金取崩額	0		
翌年度繰越収支差額	△ 3,293,989		

(参考)

事業活動収入計	2,516,793	
事業活動支出計	2,874,598	

※ 科目毎に千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※ 事業活動収支計算書とは

学校法人会計基準の一部改正に伴い、従来の「消費収支計算書」から様式を変更して作成することとなった計算書が、「事業活動収支計算書」です。この、事業活動収支計算書は、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入を事業活動収入とし、当該会計年度において消費する資産や役務の対価の合計を事業活動支出として、事業活動区分ごとの収入と支出の内容を明らかにし、基本金組入後の収支均衡の状態を明らかにすることを目的として作成するものです。事業活動の区分は、経常収支と特別収支に区分され、経常収支は、教育活動収支（特別収支と教育活動外収支を除くすべての収支）と教育活動外収支（経常的な財務活動等）で構成され、特別収支は、特殊な要因により発生する臨時的な事業活動収支を計上することになっています。

④ 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	金 額	備 考
固定資産	8,007,204	・土地、建物、備品他
流動資産	1,173,590	・現金預金他
資産の部合計	9,180,794	
固定負債	185,352	・退職給与引当金
流動負債	427,442	・未払金、預り金他
負債の部合計	612,794	
基本金	11,861,989	・1号、4号基本金
繰越収支差額	△3,293,989	・翌年度繰越収支差額
純資産の部合計	8,568,001	
負債及び純資産の部合計	9,180,794	

※ 科目毎に千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※ 貸借対照表とは

当該会計年度末における資産の部合計と負債及び純資産の部合計の額とその内容を明らかにすることにより、借方（資産の部合計）と貸方（負債及び純資産の部合計）のバランス状態を明らかにするもので、企業会計における「貸借対照表」（B/S）と同じものです。

Ⅱ財務の概要

(2) 経年比較

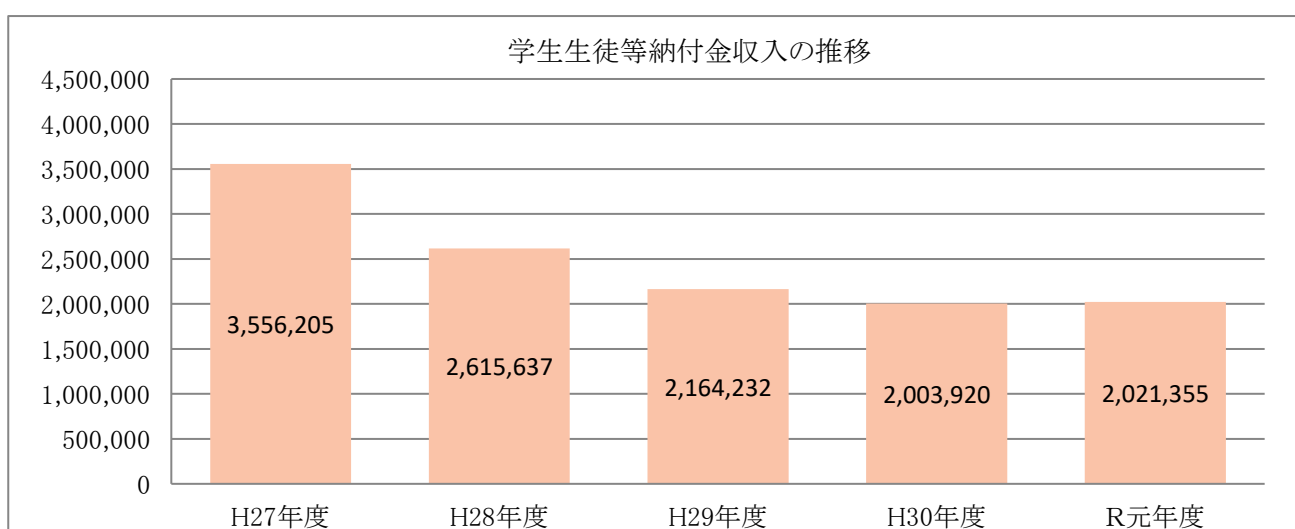
① 資金収支の経年比較

(単位:千円)

収入の部	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
学生生徒等納付金収入	3,556,205	2,615,637	2,164,232	2,003,920	2,021,355
手数料収入	98,801	61,550	48,962	54,848	55,024
寄付金収入	2,229	0	11,000	0	0
補助金収入	502,368	408,678	455,668	392,202	392,880
資産売却収入	0	0	1	0	0
付随事業・収益事業収入	11,831	17,229	13,150	14,331	14,674
受取利息・配当金収入	448	82	41	40	40
雑収入	32,155	27,316	47,526	44,813	24,969
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	541,593	433,350	366,179	289,833	294,871
その他の収入	98,071	51,298	57,949	79,198	72,680
資金収入調整勘定	△ 518,960	△ 558,434	△ 470,720	△ 396,973	△ 301,439
前年度繰越支払資金	2,899,446	2,595,673	1,726,763	1,582,768	1,266,275
収入の部合計	7,224,189	5,652,380	4,420,750	4,064,980	3,841,329

支出の部	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
人件費支出	2,044,345	1,866,302	1,923,281	1,822,926	1,678,854
教育研究経費支出	742,363	757,256	637,313	616,210	634,355
管理経費支出	417,076	368,979	258,220	290,711	255,882
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	1,943,527	6,252	0	0	21,882
設備関係支出	112,272	254,775	21,728	27,509	11,626
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	108,859	784,487	137,328	177,449	176,938
資金支出調整勘定	△ 739,926	△ 112,435	△ 139,889	△ 136,101	△ 95,501
翌年度繰越支払資金	2,595,673	1,726,763	1,582,768	1,266,275	1,157,293
支出の部合計	7,224,189	5,652,380	4,420,750	4,064,980	3,841,329

※ 科目毎に千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

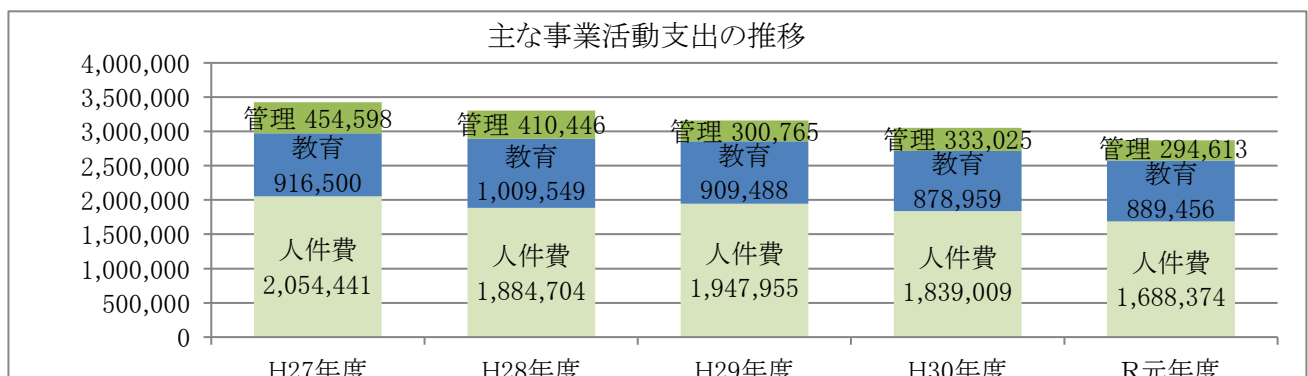


② 事業活動収支の経年比較

(単位:千円)

科目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
教育活動収支					
事業活動収入の部					
学生生徒等納付金	3,556,205	2,615,637	2,164,232	2,003,920	2,021,355
手数料	98,801	61,550	48,962	54,848	55,024
寄付金	6,812	1,149	11,859	580	3,647
経常費等補助金	502,368	408,678	455,668	392,202	391,332
付随事業収入	11,831	17,229	13,150	14,331	14,674
雑収入	32,223	27,155	47,524	43,691	23,780
教育活動収入計	4,208,240	3,131,398	2,741,395	2,509,572	2,509,812
事業活動支出の部					
人件費	2,054,441	1,884,704	1,947,955	1,839,009	1,688,374
教育研究経費	916,500	1,009,549	909,488	878,959	889,456
管理経費	454,598	410,446	300,765	333,025	294,613
徴収不能額等	0	0	0	0	0
教育活動支出計	3,425,540	3,304,699	3,158,207	3,050,994	2,872,443
教育活動収支差額	782,701	△ 173,301	△ 416,812	△ 541,421	△ 362,631
教育活動外収支					
事業活動収入の部					
受取利息・配当金	448	82	41	40	40
その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
教育活動外収入計	448	82	41	40	40
事業活動支出の部					
借入金等利息	0	0	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額	448	82	41	40	40
経常収支差額	783,149	△ 173,219	△ 416,771	△ 541,381	△ 362,592
特別収支					
事業活動収入の部					
資産売却差額	0	0	0	0	0
その他の特別収入	13,348	16,637	9,592	7,135	6,941
特別収入計	13,348	16,637	9,592	7,135	6,941
事業活動支出の部					
資産処分差額	5,444	36,912	2,387	1,569	2,133
その他の特別支出	0	794	0	0	21
特別支出計	5,444	37,705	2,387	1,569	2,155
特別収支差額	7,904	△ 21,068	7,205	5,566	4,787
基本金組入前当年度収支差額	791,053	△ 194,287	△ 409,566	△ 535,815	△ 357,805
基本金組入額合計	△ 1,425,877	△ 857,287	△ 16,179	△ 26,176	△ 28,241
当年度収支差額	△ 634,824	△ 1,051,574	△ 425,745	△ 561,992	△ 386,046
前年度繰越収支差額	△ 233,808	△ 868,632	△ 1,920,205	△ 2,345,951	△ 2,907,942
基本金取崩額	0	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 868,632	△ 1,920,205	△ 2,345,951	△ 2,907,942	△ 3,293,989
(参考)					
事業活動収入計	4,222,037	3,148,117	2,751,028	2,516,748	2,516,793
事業活動支出計	3,430,984	3,342,404	3,160,594	3,052,563	2,874,598

※ 科目毎に千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。



③ 貸借対照表

(単位:千円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
固定資産	8,871,943	8,819,131	8,534,191	8,261,832	8,007,204
流動資産	2,629,329	1,755,534	1,626,270	1,302,040	1,173,590
資産の部合計	11,501,273	10,574,664	10,160,460	9,563,872	9,180,794
固定負債	116,673	135,075	159,749	175,832	185,352
流動負債	1,319,125	568,402	539,091	462,235	427,442
負債の部合計	1,435,799	703,477	698,840	638,067	612,794
基本金	10,934,106	11,791,392	11,807,572	11,833,748	11,861,989
繰越収支差額	△ 868,632	△ 1,920,205	△ 2,345,951	△ 2,907,942	△ 3,293,989
純資産の部合計	10,065,474	9,871,187	9,461,621	8,925,806	8,568,001
負債及び純資産の部合計	11,501,273	10,574,664	10,160,460	9,563,872	9,180,794

※ 科目毎に千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

④ 活動区分資金収支計算書の状況

(単位:千円)

科 目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	4,203,590	3,130,249	2,740,537	2,508,992	2,506,165
教育活動資金支出計	3,203,784	2,991,744	2,818,815	2,729,848	2,569,069
差引	999,806	138,505	△ 78,279	△ 220,855	△ 62,904
調整勘定等	94,477	△ 119,371	△ 54,670	△ 69,059	△ 13,424
教育活動資金収支差額	1,094,284	19,134	△ 132,949	△ 289,915	△ 76,328
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	0	0	1	0	1,548
施設整備等活動資金支出計	2,055,798	261,027	21,728	27,509	33,508
差引	△ 2,055,798	△ 261,027	△ 21,727	△ 27,509	△ 31,960
調整勘定等	651,184	△ 612,670	827	△ 837	△ 1,548
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,404,614	△ 873,697	△ 20,900	△ 28,346	△ 33,508
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 310,331	△ 854,563	△ 153,849	△ 318,261	△ 109,836
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	45,880	31,809	41,151	42,990	43,114
その他の活動資金支出計	39,401	46,116	31,297	41,222	41,671
差引	6,479	△ 14,308	9,854	1,768	1,444
調整勘定等	79	△ 40	0	0	△ 589
その他の活動資金収支差額	6,558	△ 14,348	9,854	1,768	855
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 303,773	△ 868,910	△ 143,995	△ 316,493	△ 108,982
前年度繰越支払資金	2,899,446	2,595,673	1,726,763	1,582,768	1,266,275
翌年度繰越支払資金	2,595,673	1,726,763	1,582,768	1,266,275	1,157,293

※ 科目毎に千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

(3) 財 産 目 録

学校法人弘徳学園
(令和 2年3月31日 現在)

I 資 産 総 額	金	9,180,794 千円
内 1 基 本 財 産	金	7,979,240 千円
2 運 用 財 産	金	1,201,554 千円
[収 益 事 業 用 財 産	該当なし]
II 負 債 総 額	金	612,794 千円
[収 益 事 業 用 負 債	該当なし]
III 正 味 財 産	金	8,568,001 千円

[1] 資 産		
1 基 本 財 産		
(1) 土 地	123,633.00 平方メートル	2,057,195 千円
(2) 建 物	38,169.87 平方メートル	4,968,875 千円
(3) 構 築 物		349,945 千円
(4) 教育研究用機器備品	7,794 点	333,182 千円
管理用機器備品	373 点	38,750 千円
(5) 図 書	75,601 冊	224,124 千円
(6) 車 両	5 台	2,669 千円
(7) 建 設 仮 勘 定		4,500 千円
2 運 用 財 産		
(1) 預 貯 金 ・ 現 金		1,157,293 千円
(2) 不 動 産		24,385 千円
(3) 未 収 入 金		11,606 千円
(4) 前 払 金		4,691 千円
(5) 電 話 加 入 権		298 千円
(6) 施 設 利 用 権		0 千円
(7) ソ フ ト ウ ェ ア		2,670 千円
(8) 保 証 金		610 千円
収 益 事 業 用 財 産	該当なし	
[2] 負 債		
1 固 定 負 債		
(1) 退 職 給 与 引 当 金		185,352 千円
2 流 動 負 債		
(1) 未 払 金		91,467 千円
(2) 前 受 金		294,871 千円
(3) 預 り 金		41,104 千円
収 益 事 業 用 負 債	該当なし	
[3] 借 用 財 産		
(1) 土 地	893.25 平方メートル	
(2) 建 物	310.94 平方メートル	

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

Ⅲ 財務の概要

(4) 財務比率比較

主要財務比率の経年比較

	比率名	算式	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	H30全国平均	評価
収入構成	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	84.5%	83.5%	78.9%	79.8%	80.5%	51.5%	～
		経常収入							○
	寄付金比率	寄付金	0.5%	0.6%	0.8%	0.3%	0.3%	1.9%	高い値が望ましい
事業活動収入		×							
補助金比率	補助金	11.9%	13.0%	16.6%	15.6%	15.6%	9.5%	高い値が望ましい	
	事業活動収入							○	
支出構成	人件費比率	人件費	48.8%	60.2%	71.1%	73.3%	67.3%	49.0%	低い値が望ましい
		経常収入							×
	教育研究経費比率	教育研究経費	21.8%	32.2%	33.2%	35.0%	35.4%	40.0%	高い値が望ましい
		経常収入							×
	管理経費比率	管理経費	10.8%	13.1%	11.0%	13.3%	11.7%	6.9%	低い値が望ましい
		経常収入							×
	借入金等利息比率	借入金等利息	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	低い値が望ましい
経常収入		○							
基本金組入率	基本金組入額	33.8%	27.2%	0.6%	1.0%	1.1%	9.0%	高い値が望ましい	
	事業活動収入							×	
減価償却額比率	減価償却額	6.0%	8.9%	9.9%	10.0%	10.1%	10.1%	～	
	経常支出							△	
収支バランス	人件費依存率	人件費	57.8%	72.1%	90.0%	91.8%	83.5%	95.2%	低い値が望ましい
		学生生徒等納付金							○
基本金組入後収支比率	事業活動支出	122.7%	145.9%	115.6%	122.6%	115.5%	105.6%	低い値が望ましい	
	事業活動収入-基本金組入額							×	
状況	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	18.7%	-6.2%	-14.9%	-21.3%	-14.2%	4.0%	高い値が望ましい
		事業活動収入							×
	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額	18.6%	-5.5%	-15.2%	-21.6%	-14.4%	2.4%	～
資産構成	純資産構成比率	純資産	87.5%	93.3%	93.1%	93.3%	93.3%	85.7%	高い値が望ましい
		総負債+純資産							○
基本金比率	基本金	94.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.2%	高い値が望ましい
	基本金要組入額								○
資産構成	固定資産構成比率	固定資産	77.1%	83.4%	84.0%	86.4%	87.2%	86.0%	低い値が望ましい
		総資産							×
流動資産構成比率	流動資産	22.9%	16.6%	16.0%	13.6%	12.8%	14.0%	高い値が望ましい	
	総資産							×	
資産の備蓄	流動比率	流動資産	199.3%	308.9%	301.7%	281.7%	274.6%	238.1%	高い値が望ましい
		流動負債							○
前受金保有率	現金預金	479.3%	398.5%	432.2%	436.9%	392.5%	376.2%	高い値が望ましい	
	前受金							○	
負債の割合	固定負債構成比率	固定負債	1.0%	1.3%	1.6%	1.8%	2.0%	8.4%	低い値が望ましい
		総負債+純資産							○
	負債比率	総負債	14.3%	7.1%	7.4%	7.1%	7.2%	16.7%	低い値が望ましい
固定比率	純資産	88.1%	89.3%	90.2%	92.6%	93.5%	100.3%	低い値が望ましい	
	固定資産							○	
☆教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額	26.0%	0.6%	-4.9%	-11.6%	-3.0%	12.6%	プラスが望ましい	
	教育活動資金収入計							×	

☆教育活動資金収支差額比率は、活動区分資金収支計算書から算出

※ 全国平均は、令和元年度版「今日の私学財政大学・短期大学編」の大学法人から抜粋しています。
上記は、財務比率の経年比較と全国平均との比較を行ったものであります。

(5) 財務の概要について

本学園は、平成16年度に新法人として近畿大学より分離独立し、それまでに保有した自己資金を原資に4年制大学の新設と学部増設に加え大学院の新設、認定こども園の設置などの事業を行ってまいりました。

令和元年度の主な事業として、姫路大学では、地域の子どもから高齢者まで健康と発達の向上にむけた研究、支援開発を行う「姫路大学附属健康・教育実践研究センター」を設置し、また海外大学との交流協定のため、現地（カナダ）視察調査を実施、大学間提携を締結しました。

豊岡短期大学では、姫路キャンパス内に「豊岡短期大学姫路キャンパス」を開設し、兵庫県の離職者等再就職訓練事業の委託を受けて保育士養成コースを設け、合同で保育士養成を行っています。補助金対象事業として、「豊岡短期大学ブロック塀改修工事」を行い、構内の安全を図りました。

その他の事業として、姫路大学では、大学院看護学研究科博士後期課程において、設置計画に従い備品・図書等の整備を行いました。そして1号棟手洗いハンドドライヤー取付工事、前年度に引き続き、硬式庭球部の運営及び遠征業務を委託しました。硬式庭球部は「全日本大学対抗テニス王座決定試合」に出場し、4位の好成績を収めました。

さらに、姫路大学、豊岡短期大学においては、学生の修学支援のための奨学金制度の充実、国家試験対策や教員採用試験対策講座開講といった就職活動支援、また、公開講座や学術講座、大学祭等の開催を通して地域貢献活動を行いました。このとり認定こども園においては、地域の子育て支援活動に積極的に取り組みました。

令和元年度決算における収支の概要は、資金収支計算書においては、学生生徒等納付金収入をはじめとする資金収入に、前年度繰越支払資金12億7千万円（以下 千万円未満四捨五入）を加えた資金収入の部合計は38億4千万円、人件費支出や教育・管理経費等を含む資金支出の計は26億8千万円となり、翌年度繰越支払資金は、11億6千万円となりました。翌年度に繰り越すことになる現金預金は、前年度に比べ1億1千万円の減少となりました。

活動区分資金収支計算書においては、教育活動資金収支差額（資金収支のうち、教育活動にかかる収入と支出の差額）が、△8千万円の赤字の状態です。昨年度より2億1千万円の赤字額が圧縮されました。

事業活動収支計算書においては、基本金組入前当年度収支差額は、△3億6千万円の赤字で、基本金組入後の当年度収支差額も△3億9千万円の支出超過の状態となりました。

この収支差額は、平成27年度決算より単年度決算で収支の差額がマイナスの状態となり、今期決算においても収支差額がマイナスとなったため、累積赤字の翌年度繰越収支差額のマイナスが増加する結果となりました。

貸借対照表では、資産の部合計は91億8千万円です。これに対して負債の部合計は6億1千万円、純資産の部合計は85億7千万円となり、負債が資産を上回ってはおりません。

財産目録では、正味財産が85億7千万円であり、負債総額が資産総額を上回ってはならず、外部負債である借入金は0円で、法人設立以来借入金がない状態です。

主要財務比率の経年比較では、上段の事業活動収支計算書関係比率では、低い値が望ましいとされる人件費比率は全国平均を上回り、高い値が望ましいとされる事業活動収支差額比率はマイナスの状態が続いております。

下段の貸借対照表関係比率では、高い値が望ましいとされる流動比率と前受金保有率については、全国平均より高い値で推移しており、また低い値が望ましいとされる負債率と固定比率については全国平均より低い値で推移しております。

活動区分資金収支計算書から算出される教育活動資金収支差額比率は、△3.0%で前年度よりマイナスが圧縮されています。

安定した財務体質による積極的な法人経営を行うためには、収支均衡を目指しながら、減少した翌年度繰越支払資金いわゆる現金預金の保有高の増額を図るとともに、累積赤字である翌年度繰越収支差額のマイナスについて着実に改善を図ることが引き続きの課題であります。

この課題克服には、定員の確保による学生生徒等納付金収入の増加と外部資金等の獲得による収入額の増加を図り、教育・研究活動に重点を置きながら人件費を含む支出経費の見直し等を着実に実行し支出額の抑制を図る必要があると考えております。

現在見舞われている新型コロナウイルス禍は、学生の修学機会に大きな影響を及ぼし、また学園運営にも大きな困難をもたらすことが予測されます。安定した財務体質を目指しつつ、学生の学修継続については様々な形で支援策を講じてまいります。

(6) その他

①補助金の交付通知状況

令和元年度 学校法人弘徳学園補助金等交付状況一覧

(単位：千円)

	補助金名	金額
姫路大学	私立大学等経常費補助金（一般補助）	141,629
	私立大学等経常費補助金（特別補助）	12,921
	姫路市結核予防費補助金	192
	姫路市一般学術振興助成事業（公開講座等助成）	163
	姫路市シニアオープンカレッジ助成金	250
	小計	155,155
豊岡短期大学	私立大学等経常費補助金（一般補助）	97,293
	私立大学等経常費補助金（特別補助）	15,671
	私立大学施設設備費補助金	1,548
	結核定期健康診断実施費補助事業補助金	34
	小計	114,546
ここのとり認定こども園	豊岡市私立認定こども園振興事業補助金	1,000
	私立幼稚園預かり保育推進事業補助金	1,460
	私立幼稚園認定こども園特色教育推進事業補助金	640
	民間社会福祉施設運営支援事業交付金	723
	施設型給付費（豊岡市）	111,167
	豊岡市認可保育所等運営事業補助金（福利厚生費等運営補助金分）	3,449
	豊岡市保育の質の向上のための研修事業補助金	100
	豊岡市重度食物アレルギー児対策事業補助金	543
	豊岡市障害児保育事業補助金	1,598
	豊岡市認可保育所等運営事業補助金（地域活動事業補助金分）	75
	豊岡市一時預かり保育事業補助金（年額分）（一般型、幼稚園型）	1,605
	豊岡市一時預かり保育事業補助金（ママの休日プレゼント分）	65
	豊岡市延長保育事業補助金（年額分）（保育短時間認定、保育標準時間認定）	303
	豊岡市私立認定こども園保育料軽減事業補助金	384
	豊岡市私立保育所備品整備事業補助金（新型コロナウイルス対策）	68
	小計	123,180
合計		392,881

※項目毎に千円未満四捨五入しているため、合計額が一致しないことがあります。

②科学研究費助成事業等外部資金の受入状況

令和元年度 科学研究費助成事業 交付一覧

(単位：円)

	研究種目	所 属	職名	直接経費	間接経費	分担
研究代表者	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	教授	700,000	210,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	教授	650,000	225,000	有
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	教授	800,000	240,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	講師	400,000	120,000	有
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	助教	475,000	142,500	有
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	特任教授	1,000,000	300,000	有
	基盤研究 (C)	姫路大学教育学部こども未来学科	講師	1,300,000	390,000	—
研究分担者	基盤研究 (B)	姫路大学教育学部こども未来学科	教授	200,000	60,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	教授	100,000	30,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	教授	75,000	22,500	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	特任教授	50,000	15,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	特任教授	200,000	60,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	特任教授	30,000	9,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	特任教授	60,000	18,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	教授	100,000	30,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	教授	50,000	0	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	講師	100,000	30,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	講師	50,000	15,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	助教	50,000	15,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	特任教授	100,000	30,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	特任教授	100,000	30,000	—
	基盤研究 (C)	姫路大学看護学部看護学科	特任教授	50,000	330,000	—
	挑戦的研究 (萌芽)	姫路大学看護学部看護学科	教授	270,000	81,000	—
	基盤研究 (C)	豊岡短期大学こども学科	講師	300,000	90,000	—
	基盤研究 (C)	豊岡短期大学こども学科	講師	200,000	60,000	—

令和元年度 厚生労働科学研究費補助金 交付一覧

(単位：円)

	研究種目	所 属	職名	直接経費	間接経費	分担
研究分担者	認知症対策研究事業	姫路大学看護学部看護学科	教授	100,000	—	—

令和元年度 姫路市大学発まちづくり研究助成事業 交付状況一覧

(単位：円)

所 属	研究グループ名	交付決定額
姫路大学看護学部看護学科	高齢者の生活を考える研究グループ	360,000
姫路大学看護学部看護学科	プロジェクトHimeji	480,000